

2024年度第2四半期 決算説明資料

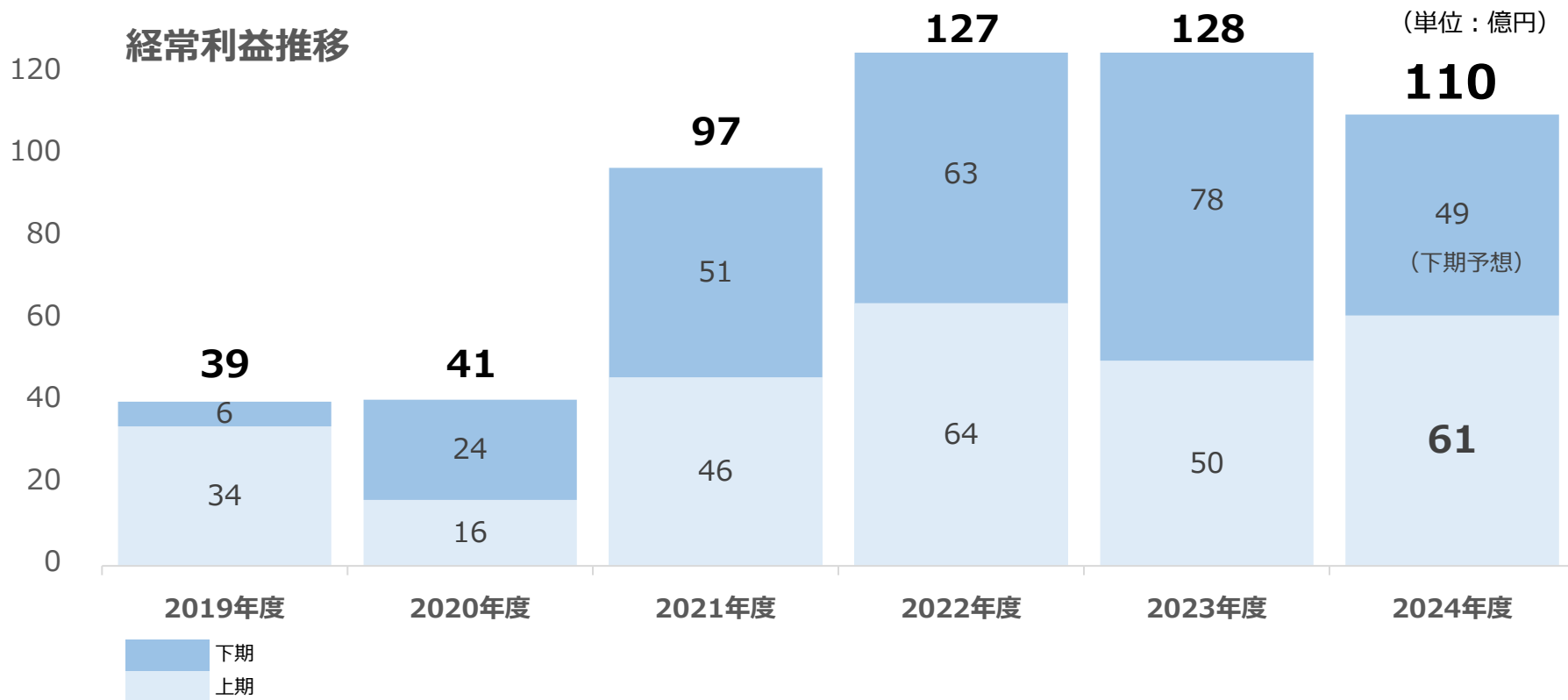
神 鋼 商 事 株式
会 社

証券コード：8075

本資料のサマリー

2024年度 第2四半期 業績概要

- 2024年度の第2四半期の経常利益は61億円
- 鉄鋼や機械ユニットでの減益の一方、アルミ・銅ユニットでの自動車用端子コネクタや空調用銅管の取扱量増加等により、前年同期比で増益
- 通期の経常利益は当初予想通りとし、配当についても当初予想通り中間配当150円、期末配当予想150円の年間配当予想300円（1株あたり）とする



1. 2024年度第2四半期 業績概要
2. 2024年度 通期業績予想
3. Topics
4. 参考資料

1. 2024年度第2四半期 業績概要

2. 2024年度 通期業績予想

3. Topics

4. 参考資料

2024年度第2四半期 連結損益計算書

1.業績概要

- 売上高はアルミ・銅ユニットで自動車用端子コネクター、空調用銅管の取扱量増加等により、前年同期比+273億円の増収
- 経常利益は61億円、前年同期比+11億円の増益

(単位：億円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額	増減率(%)
売上高	2,794	3,067	+273	+9.8%
売上総利益	188	206	+18	+9.7%
販売管理費	128	136	+8	-
営業利益	60	70	+10	+17.0%
経常利益	50	61	+11	+21.9%
当期純利益	37	46	+9	+23.0%
配当金(円)	125	150	+25	-

2024年度第2四半期 ユニット別経常利益増減

(単位：億円)

		売上高			
		2023 2Q	2024 2Q	増減額	増減率 (%)
金 属	鉄 鋼	1,235	1,269	+34	+2.8%
	ア ル ミ 銅	823	979	+156	+19.0%
	原 料	323	412	+90	+27.7%
	小 計	2,381	2,661	+280	+11.8%
機 械・ 溶接	機 械	273	264	▲8	▲3.0%
	溶 接	139	140	+1	+1.0%
	小 計	412	405	▲7	▲1.7%
そ の 他		2	1	▲1	-
合 計		2,794	3,067	+273	+9.8%

経常利益			
2023 2Q	2024 2Q	増減額	増減率 (%)
27	23	▲4	▲14.2%
5	17	+12	+ 234.6%
6	11	+5	+ 78.0%
39	52	+ 13	33.9%
8	6	▲2	▲27.2%
3	4	0	+ 14.4%
11	10	▲2	▲16.0%
▲0	▲1	▲0	-
50	61	11	+ 21.9%

ユニット別 売上高/経常利益 増減（金属本部）

1.業績概要

鉄 鋼

（単位：億円）

年度	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
売上高	1,235	1,269	+34
経常利益	27	23	▲4

- 単体は取扱数量は増加も、取扱構成品目の変化により売上総利益が減少し減益



アルミ・銅

年度	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
売上高	823	979	+156
経常利益	5	17	+12

- 単体は、自動車用端子コネクタや空調用銅管の取扱量増加等の影響により増益
- Gr会社は、主に2023年度に子会社化した稲垣商店の利益寄与により増益



原 料

年度	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
売上高	323	412	+90
経常利益	6	11	+5

- 単体は鉄スクラップ輸出増加、バイオマス燃料関連の取扱量増加により増益
- 海外子会社において一過性の収益を計上



ユニット別 売上高/経常利益 増減（機械・溶接本部）

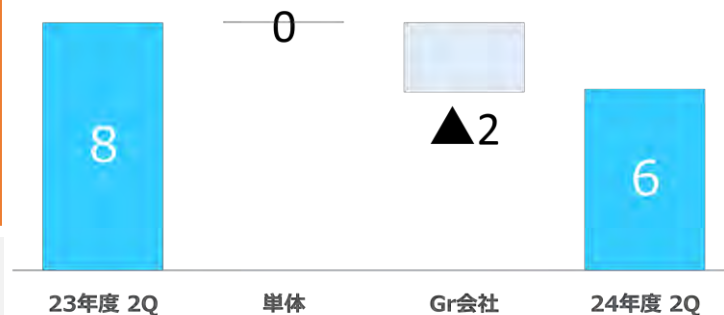
1.業績概要

機 械

（単位：億円）

年度	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
売上高	273	264	▲8
経常利益	8	6	▲2

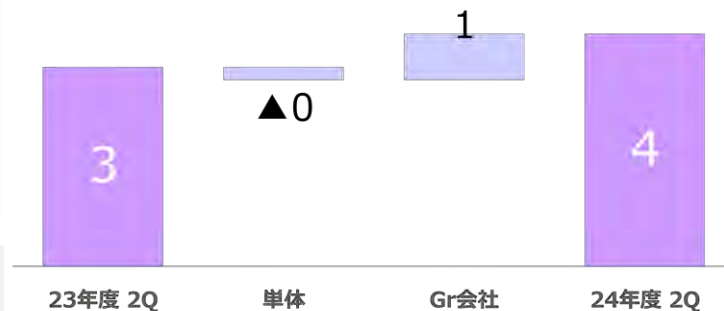
- 海外子会社での建機部品の取扱量減少により**減益**



溶 接

年度	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減
売上高	139	140	+1
経常利益	3	4	0

- 国内子会社での溶接機材の取扱量増により経常利益は微増



バランスシート状況

1.業績概要

(単位：億円)

	2023年度 3月末 (2024/3月)	2024年度 9月末 (2024/9月)	増 減
流 動 資 産	3,376	3,416	+40
固 定 資 産	588	568	▲20
〔 内訳 有形・無形固定資産 投資その他の資産 〕	〔 110 〕 〔 478 〕	〔 116 〕 〔 452 〕	〔 +6 〕 〔 ▲27 〕
資 産 合 計	3,964	3,983	+19
流 動 負 債	2,810	2,790	▲19
固 定 負 債	280	279	▲1
負 債 合 計	3,089	3,069	▲20
自 己 資 本	860	897	+37
非 支 配 株 主 持 分	15	18	+3
純 資 産	875	914	+39

外 部 有 利 子 負 債	608	646	+38
自 己 資 本 比 率	21.7%	22.5%	+0.8%
D / E レ シ オ	0.7倍	0.7倍	-
1 株 当 た り 純 資 産	9,770.1	10,182.6	
期 末 株 価	7,220円	6,450円	
P B R	0.73倍	0.63倍	

キャッシュフローの状況

1.業績概要

(単位：億円)

	2023年度 2Q	2024年度 2Q	増減額
営業活動によるCF（営業CF）	▲24	+46	+70
投資活動によるCF（投資CF）	+1	+6	+5
フリーキャッシュフロー （営業CF+投資CF）	▲23	+51	+74
財務活動によるCF（財務CF）	+42	▲10	▲52
総合キャッシュフロー （フリーキャッシュフロー+財務CF）	+19	+42	+23

1. 2024年度第2四半期 業績概要

2. 2024年度 通期業績予想

3. Topics

4. 参考資料

2024年度 通期業績予想

2.業績予想

- 第2四半期業績の上振れ影響により、営業利益は前回予想値より増益となる一方で、海外投資先の業況が不透明であることから、経常利益や親会社株主に帰属する当期純利益、及び配当予想については据置きとする
- 前回予想通り中間配当150円、期末配当予想150円の年間配当予想300円とする

(単位：億円)

【ご参考：23年度通期実績 vs 24年度通期予想】

	2024年度 2Q 実績	2024年度 前回予想 (A)	今回予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	3,067	6,230	6,230	-
営業利益	70	107	123	+16
経常利益	61	110	110	-
当期純利益	46	81	81	-
1株当たり 当期純利益	519.01円	920.0円	920.0円	-
配当金(円)	150円	300円	300円	-

2023年度 通期 実績	前年度比 増減額	前年度比 増減率
5,914	+316	+5.3%
133	▲10	▲7.5%
128	▲18	▲14.2%
91	▲10	▲11.1%
1,035.4円	▲115.4円	▲11.8%
315円	▲15円	-

2024年度 通期業績予想 ユニット別 経常利益

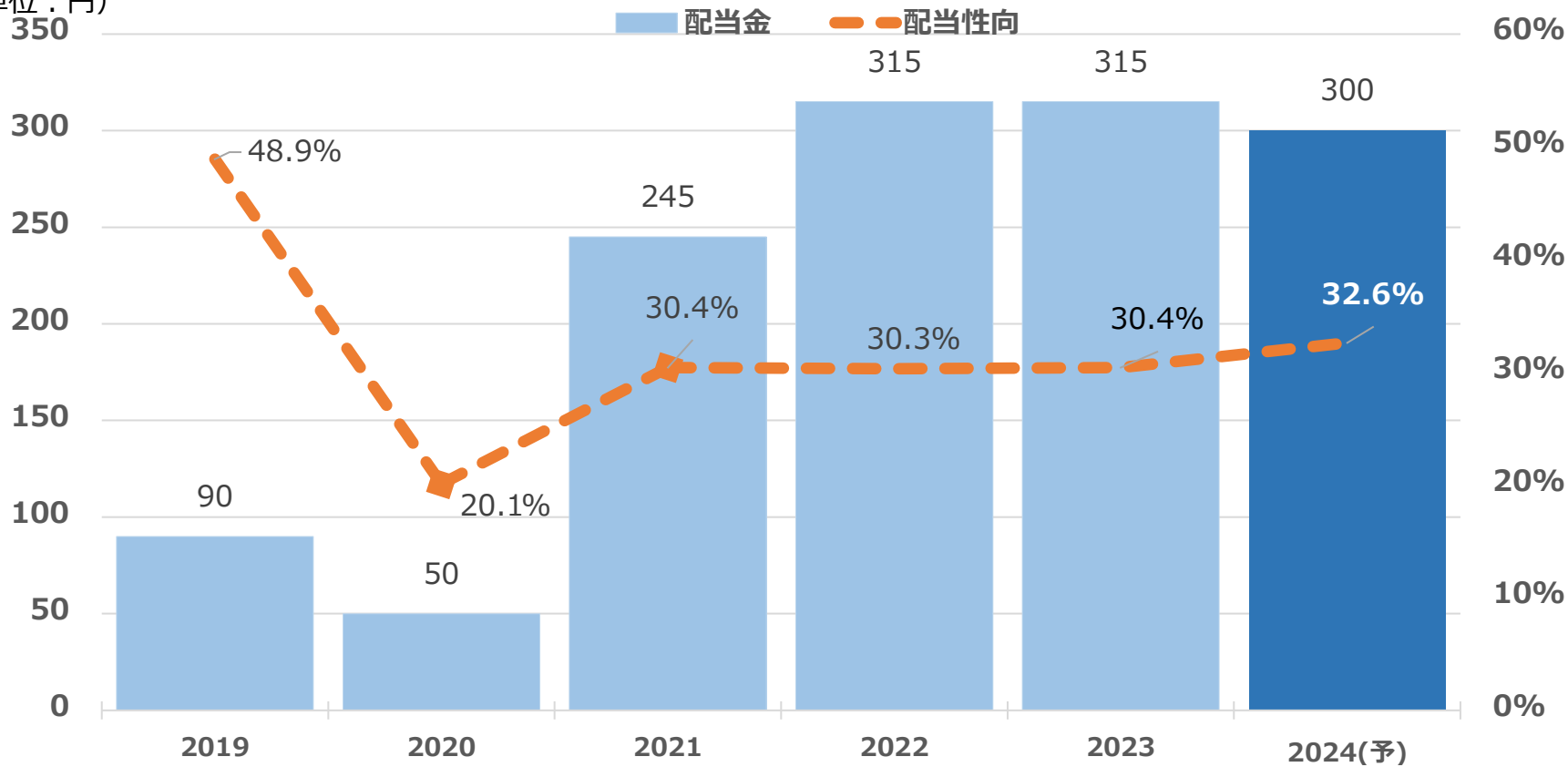
2.業績予想

(単位：億円) 【ご参考：23年度通期実績 vs 24年度通期予想】

		2024年度 2Q実績	2024年度 当初 通期予想	進捗率 (%)	通期 見通し (対 当初予想)	2023年度 実績	前年度比 増減額	前年度比 増減率
金 属	鉄 鋼	23	59	39%	→	66	▲7	▲11.1%
	アルミ・銅	17	15	113%	↗	16	▲1	▲8.3%
	原 料	11	15	73%	↘	15	▲0	▲0.9%
機 械 溶 接	機 械	6	15	40%	→	23	▲8	▲35.1%
	溶 材	4	6	67%	→	7	▲1	▲19.4%
そ の 他		0	0	-	-	▲0	0	-
合 計		61	110	55%	→	128	▲18	▲14.2%

- 「**中期経営計画2026**」での配当方針は、「連結配当性向 30%以上、または 1 株あたり配当 300 円のいずれか高い方とする」としております。
- 2024年度の中間配当は150円と決定し、期末配当予想は150円を据え置き、年間配当予想は300円といたします

(単位：円)



1. 2024年度第2四半期 業績概要

2. 2024年度 通期業績予想

3. Topics

4. 参考資料

- テーマを「第二の創業」の本格化とし、前中期経営計画で掲げた質の高い経営と真のグローバル企業への変革を具現化するステージ。
- KOBELCOグループをリードする中核商社として、「収益力の強化」、「投資の促進」、「商社機能の強化」、「経営基盤の強化」に加え、サステナビリティ、人的資本、資本コスト経営を推進し、企業価値向上を目指します。

2026年度目標数値

連結経常利益

145億円

ROE（自己資本利益率） 10.0%以上

ROIC（投下資本利益率） 6.5%

自己資本比率 21%以上

< 事業分野別の投資計画 >

中期経営期間中の投資総額は230億円を予定

☆ 重点施策

- 鉄鋼ユニット
- アルミ・銅ユニット
- 原料ユニット
- 機械ユニット
- 溶接ユニット
- 新事業推進室

		KOBELCO 神戸製鋼グループ KOBELCOグループ ビジネス	神鋼商事 神鋼商事オリジナル サプライチェーン	S X 新規事業推進
主な 事業 分野	自動車	☆ 特殊鋼線条ビジネスの収益力強化 ● 特殊鋼線条の事業領域拡大 ● サプライチェーンDX		
	半導体		☆ 半導体拡大ニーズの捕捉 ベトナム/VINA WASHIN ALUMINUM押出プレス増設 ● 半導体製造装置部品事業	
	資源リサイクル		☆ 金属リサイクルの収益性向上 ● 環境リサイクル関連投資	
	エネルギー	● バイオマス燃料新商品開発	☆ バイオマス燃料の確保と新商品開発 ● バイオマス燃料(木質ペレット)事業	● バイオマス燃料新商品開発
	ものづくりの現場	☆ 脱炭素関連機器、省人化ニーズの対応強化 ● エンジニアリング事業		
	その他	● インド/TRACK DESIGN INDIA能力増強	● 溶接商社機能強化	● 新規案件（※） （※）新規案件については、事業分野を 限定せずに検討中。

中期経営計画2026

https://www.shinsho.co.jp/ir/policy/medium_term_management.html

神商精密株式会社の立ち上げ



神和アルミ工業(株)と共同で、半導体製造装置向けアルミ厚板の機械加工会社「神商精密株式会社」を設立いたします。神商精密(株)は2024年6月の設立を予定しており、中期経営計画2026で掲げる「投資の促進」の半導体分野の捕捉に関する取組みの一環です。神和アルミ工業(株)の高い技術とノウハウを活かし、競争力の強化に加え、BCP需要にも対応しつつ市場拡大を図ります。また、水平リサイクルを通じてカーボンニュートラルにも貢献してまいります。

半導体製造装置向けアルミチャンバー合弁加工会社設立に関するお知らせ：https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202406

日本グラニューレーターが当社グループへ



当社と当社グループの(株)マツボーは、24年4月に日本グラニューレーター(株)（以下、日グラ社）の全株式を取得し、連結子会社としました。日グラ社は珈琲豆用粉碎整粒機を開発・販売しており、(株)マツボーはその最大顧客です。日グラ社のグラニューレーターの更なる拡販に加え、技術力を活用することによる新規事業拡大やベースカーゴの底上げ等が期待でき、日グラ社の技術力を活用し、新規事業の拡大や事業基盤の強化を図ります。

日本グラニューレーター株式会社との株式譲渡契約締結に関するお知らせ：https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202404

神鋼商事ファミリーデーを開催



24年7月に東京本社にてファミリーデーを開催し、従業員とその家族約100名が参加しました。社長の挨拶から始まり、取扱商品の説明や展示、海外現地法人社員との会議体験、クイズ大会、社長室見学ツアー、子供向けの名刺交換など、多彩なイベントを行いました。参加者からは職場の理解が深まり、楽しい夏の思い出になったと好評でした。今後も社員のエンゲージメントを高め、個性を発揮できる職場づくりを目指してまいります。

神鋼商事ファミリーデー2024を開催しました：

<https://www.shinsho.co.jp/topics/familyday/>

ナショナルスタッフ交流会



当社ダイバーシティ推進PJの主催で、グローバルコミュニケーションの活性化を目的とし、海外現地法人スタッフを東京本社に迎えて交流会・懇親会を開催しました（中国、タイ、インドネシア、ベトナム、米国のスタッフが参加）。

海外スタッフと日本社員がディスカッションを通じて親交を深め、懇親会も大いに盛り上がりました。今後もダイバーシティPJ活動を推進し、国内外の交流を通じて新しい価値の創造を目指します。

神鋼商事グループナショナルスタッフ交流会開催しました：

<https://www.shinsho.co.jp/topics/NSkouryu/>

統合報告書2024発刊



24年10月に「**統合報告書2024**」を発刊しました。本報告書は、株主や投資家を含む全てのステークホルダーに向けて、当社グループの人材・企業価値向上に向けた戦略や課題、中期経営計画2026、非財務情報を分かりやすく説明し、マテリアリティに対する具体的な取り組みを紹介しています。統合報告書は22年から発刊しており、今後もステークホルダーとのコミュニケーションを通じて企業価値向上に努めます。

神鋼商事株式会社「統合報告書2024」

https://www.shinsho.co.jp/ir/library/integrated_report.html

JPX日経中小型株指数へ選定



当社は、株式会社JPX総研および株式会社日本経済新聞社が共同で算出する「**JPX 日経中小型株指数**」の構成銘柄として選定されました。JPX 日経中小型株指数は、「投資者にとって投資魅力の高い会社」を構成銘柄とする JPX 日経 400 と同じコンセプトを中小型株に適用し、持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数です。JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出を行っています。当社は今後もすべてのステークホルダーのご期待に添うべく、引き続き持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

「JPX 日経中小型株指数」構成銘柄への選定に関するお知らせ：

https://www.shinsho.co.jp/pdf_file/202410.pdf

1. 2024年度第2四半期 業績概要

2. 2024年度 通期業績予想

3. Topics

4. 参考資料

神 鋼 商 事 株 式 会 社

(2024年9月末時点)

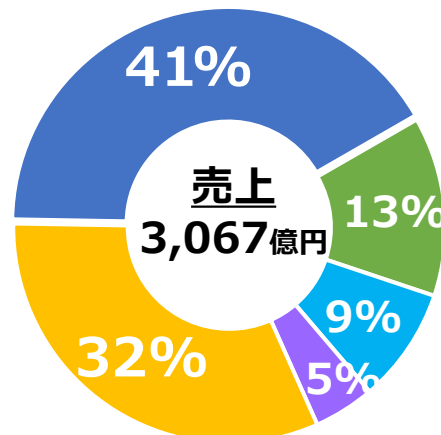
業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所 プライム市場(8075)
住 所	【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	42社
従 業 員 数	連結：1,525名 (内、平均臨時雇用者数 74名) 単体： 521名 (内、平均臨時雇用者数 49名)
単 元 株 式 数	100株
事 業 内 容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入



- 当社は、金属本部（鉄鋼ユニット、アルミ・銅ユニット、原料ユニット）と、機械・溶接本部（機械ユニット・溶接ユニット）で事業を展開

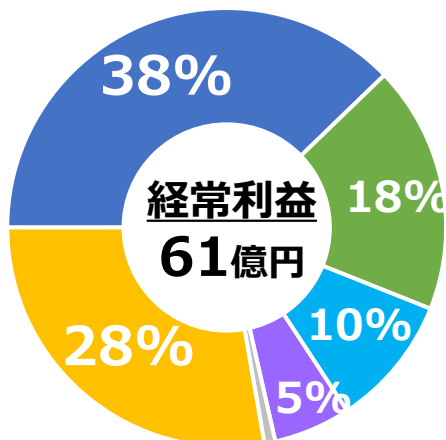
鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



アルミ・銅（旧：非鉄金属）

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ・雑電線等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



原料（旧：鉄鋼原料）

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械（旧：機械・情報）

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



溶接（旧：溶材）

高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供

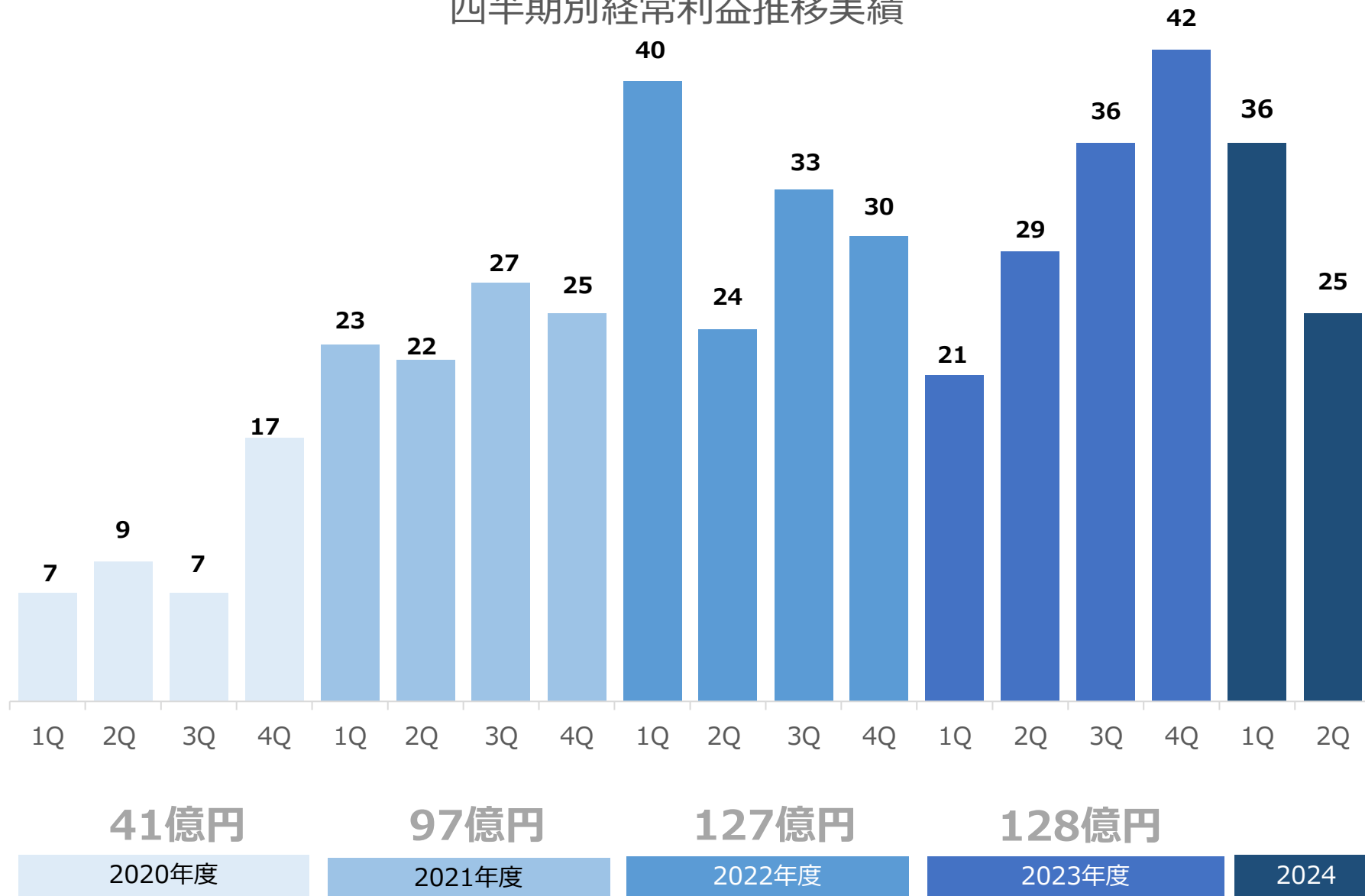


経常利益の推移（四半期ベース）

4. 参考資料

四半期別経常利益推移実績

（単位：億円）

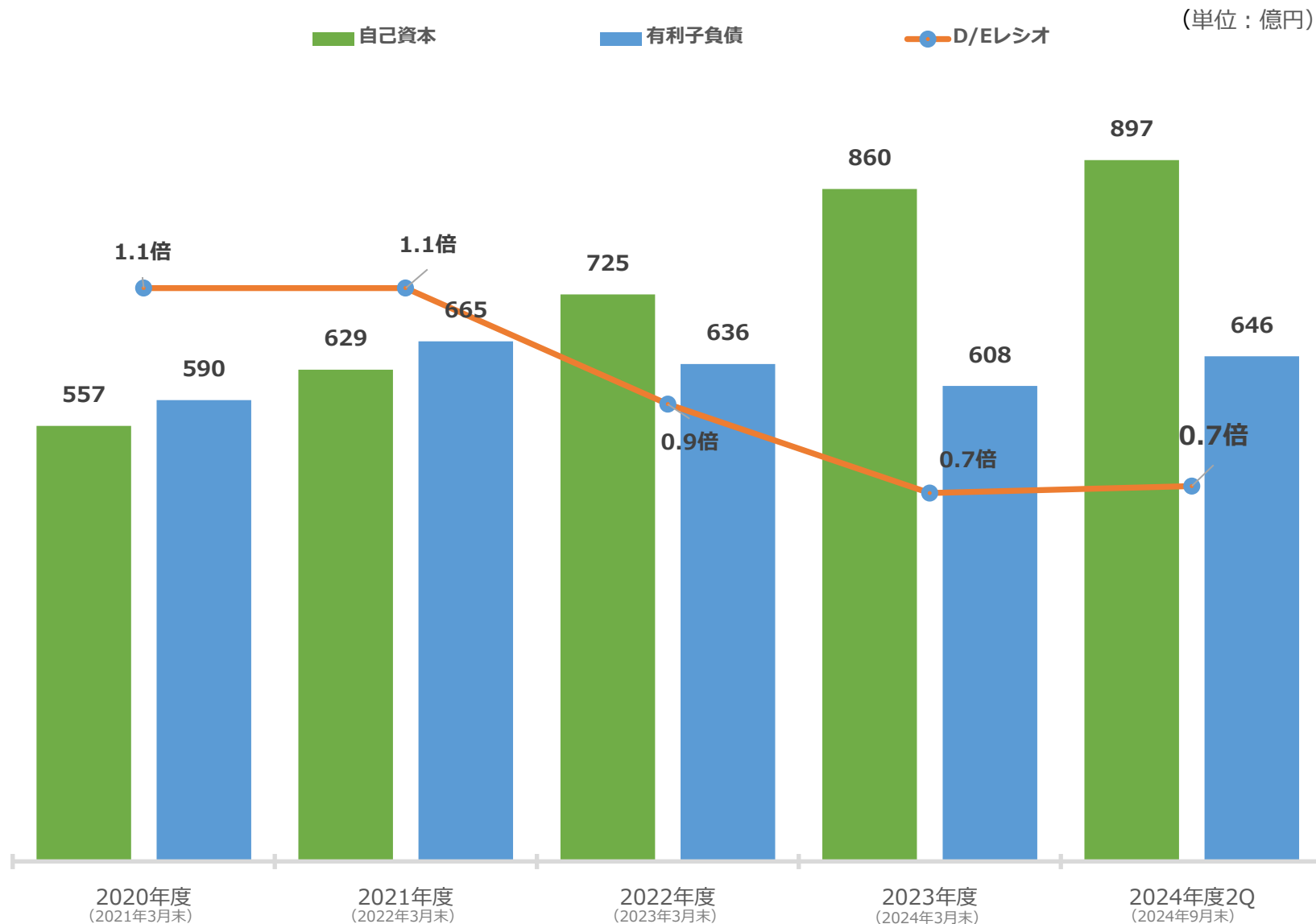


バランスシート状況

自己資本・外部有利子負債 推移

4. 参考資料

● D/Eレシオ： 0.7倍 （参考：ネットD/Eレシオ 0.6倍）



企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。